

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
平成30年 6月 25日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住 所 愛知県稲沢市祖父江町祖父江外平150番地	
氏 名 王子マテリア株式会社 祖父江工場	
執行役員工場長 冷田 薫	
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 0587-97-2111	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名 称	王子マテリア株式会社 祖父江工場
事業場の所在 地	愛知県稲沢市祖父江町祖父江外平150番地
計画期 間	平成30年4月1日～平成31年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
1 事業の種 類	14：パルプ・紙・紙加工品製造業
2 事業の規 模	製造品出荷額 22 ，482百万円
3 従業員 数	168人

④産業廃棄物の一連の処理の工程	はいじん：再生処理業者に委託してセメント原料として再資源化 汚泥：自社中間処理後再生処理業者委託、セメント原料として再資源化 廃プラ：中間処理後再生利用 木くず：再生処理業者に委託後燃料化 廃油：廃油のみ有償引取り、他・再生処理業者に委託後燃料化 鉋さい：再生処理業者に委託してセメント原料として再資源化 がれき類：再生処理業者に委託後原料化
-----------------	---

（日本工業規格 A列4番）

（第2面）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 産業廃棄物統括責任者 ↓ 環境管理責任者（環境管理室長） ↓ ↓ 事務部 廃棄物担当者 (資材担当) ↓ 工務部 廃棄物担当者 (動力担当) ↓ 関連会社 廃棄物担当者			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
1 現状	【前年度（平成29年度）実績】 別紙の通り（資料1）		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ニデイングパルパーの活用により、工場内工程で発生する粕の一部を原料として使用している。		
2 計画	【目標】 別紙の通り（資料1）		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t

		(今後実施する予定の取組) ・石炭灰減少のため、省エネ（省蒸気）を推進していく。
産業廃棄物の分別に関する事項		
1 現状		(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・各職場にて廃棄物の分別を行い、有効利用できるものを分別している。
② 計画		(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・パルパ一粕について、金属異物の分離方法を改善し、金属異物混入の減少を図る。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
1 現状	【前年度（平成２９年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
2 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定なし。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
1 現状	【前年度（平成２９年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った	１２，３１０ t	t

		産業廃棄物の量		
		自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	97,990 t	t
		(これまでに実施した取組) スラッジ焼却効率を改善し、焼却灰の量を減らす。 歩留まりを向上させ、スラッジの発生量を減らす。		
	2 計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	12,300 t	t
		自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	98,000 t	t
		(今後実施する予定の取組) 現状を継続していく。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
1 現状	【前年度（平成29年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t		t
	(これまでに実施した取組) 実施していない			
2 計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t		t

		(今後実施する予定の取組)	
		実施する予定無し	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
1 現状	【前年度（平成29年度）実績】別紙の通り（資料2）		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の減量を図る。 ・委託先処理業者には、定期的に実地確認を実施する。		

(第5面)

2 計画	【目標】別紙の通り（資料2）		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t

		認定熱回収業者への 処理委託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託 量	t	t
		(今後実施する予定の取組) ・ 処理業者選定において、優良認定処理業者であることを考慮に いれていく。		
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ① 欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ② 欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④ 欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

